



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2005, 83(6): 817-817

ISSUE DATE:

2005-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110150>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成17年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第83巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.83 no.6

物性研究

2005 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

以前、私はある人から「あなたはコンピュータを計算に使う」と言われて一瞬真意が分からず、当惑した経験がある。後に分かったことだが、この意味は、現在のコンピュータの用途は、ワードプロセッサ、電子メール、インターネットなど情報の検索、整理、発信、提示に用いるのが大多数であるということだった。

学術雑誌のオンライン化は進み、購読費の問題を度外視すれば、バックナンバーも簡単に閲覧ができるようになった。特に APS 系の雑誌では、創刊号からすべてがオンライン化されていて、古いものを見たいときには大変便利である。別刷の交換は、今では挨拶代りの意味合いしか無くなったかのように見える。

雑誌以外でも、書籍の電子化がはじめられているのはご承知の通りである。プレプリントなどの媒体として普及している、良く知られたあるファイル形式があるが、そのリーダーも新しいものは本を読む機能も付属している。(もちろん、該当の規格のものについてののみ。) このような本の電子化にはあまり期待していなかったし、さして興味もなかったのだが、最近これを少し試す機会があった。試してみたのは洋書であったが、中でも英語で読み上げてくれる機能は、予想外に出来がよくて少々気に入った。ゆっくりとした聞取りやすい発音ゆえ、英会話の勉強にはならないかもしれないが、このような機能なら役に立つことはあろうと思う。

とは言っても、現在出回っているリーダーは所詮「機械」である。こういう物では困る、やはり紙の持つ質感、重量感が恋しい、という人のために電子リーダーを本に近づける開発計画も進んでいるらしい。大きさ、重さを考慮し、紙のページをめくる様な感じを如何に再現するか研究されているのである。このような試みは、デジカメが“カシャッ”というシャッターの音を出す事に似ている。

こういうことを考えていると、以前読んだことのある講義録の一節をふと思い出した。それは、計算機の高速化を突き詰めて行くと自然に帰る、という内容を含む、講演の一部である。“こんな冗談があります。遠い将来のこと。空気力学の計算をする新しい方法を論じた論文が現れた。新型の大型計算機を使う代わりに、簡単な装置で翼に空気を吹きつければよい、というものです(これは風洞の再発明です)。”(「未来の計算機」R.P. Feynmann (江沢洋 訳) 数学セミナー 1986 年 1 月号) 技術進歩の結果として、我々はいったい進化してるのか、退行しているかどちらか分からないような、何とも不思議な気がしてくるのは私だけであろうか。

今月も本誌をパラパラめくってお楽しみ下さい。

(cardamom)

[物性研究]

編集長

武末 真二 (京大・理・物理)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (東工大・理工・物性物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
関本 謙 (ルイパスツール大・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 83 卷第 6 号 (平成 17 年 3 月号) 2005 年 3 月 20 日 発行

発行人 武 末 真 二

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

武末 真二 (京大・理・物理)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (東工大・理工・物性物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
関本 謙 (ルイパズツール大・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 83 卷第 6 号 (平成 17 年 3 月号) 2005 年 3 月 20 日 発行

発行人 武 末 真 二

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 83-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

「量子計算入門」 中原 幹夫 699

○原子気体BECにおける量子渦の分裂 川口 由紀 787

○編集後記 817

○目 録 (Vol. 82, 83) 819

物 性 研 究 83-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

「量子計算入門」 中原 幹夫 699

○原子気体BECにおける量子渦の分裂 川口 由紀 787

○編集後記 817

○目 録 (Vol. 82, 83) 819